

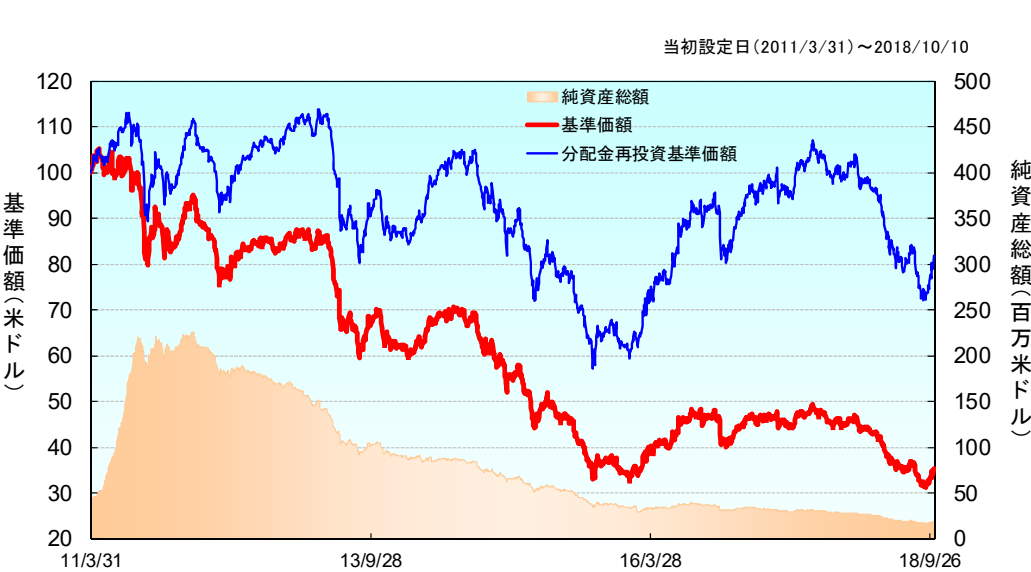
ダイワ・ファンド・シリーズ
ダイワ新興国債券ファンド（米ドル建／毎月分配型）
－通貨ブリッジ－
（ブラジル・リアル・ヘッジコース）

最近の運用状況について

2018年10月12日

平素は、『ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド（米ドル建／毎月分配型）－通貨ブリッジ－（ブラジル・リアル・ヘッジコース）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの最近の運用状況についてお知らせいたします。

基準価額・純資産の推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、管理報酬等は控除しています。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、分配方針に基づいて管理会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<投資環境>

(債券市況)

米国債券市場では、景況感指数や賃金の伸びが市場予想を上回る堅調な内容となったことなどから金利は上昇しました。FOMC（米国連邦公開市場委員会）では、市場予想通りに0.25%ポイントの利上げが実施され、今後も利上げを継続する姿勢が示されました。米国の中国に対する追加関税が発表されたものの、事前に織り込まれていたこともあり市場への反応は限定的となりました。

米ドル建て新興国債券に関しては、スプレッド（米国債との利回り格差）はおおむね縮小傾向となりました。トルコ・リラの反発などをを受け新興国に対する投資家センチメントが改善したことなどから、多くの国でスプレッドが縮小しました。

トルコでは、市場予想を上回る6.25%ポイントの大幅な利上げが実施されたことで市場の信認が高まり、スプレッドは大きく縮小しました。南アフリカでは、インフレ率が市場予想を下回る結果となったことを受け、スプレッドが縮小しました。ブラジルでは、インフレ率が下振れしたことや新興国市場への懸念の後退などがスプレッドの縮小要因となりました。

(短期金利の環境)

インフレ率が落ち着いた推移となる中でブラジル中央銀行は政策金利の据え置きを続けています。こうした環境の中、短期金利はおおむね横ばいで推移しました。

(為替市況)

ブラジル・レアルは対米ドルで上昇しました。トルコ・リラの反発を受けて市場のリスク選好度が改善したことなどが、ブラジル・レアルの上昇要因となりました。

<運用経過>

JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（以下、参考指数）を参考として、新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を目指した運用を行いました。国別アロケーションとしては、マクロ経済環境の動向や各国のファンダメンタルズなどを考慮して調整を行いました。ファンド全体（現金等を含む）の修正デュレーションは7～8年程度で機動的にコントロールしました。

<今後の見通し>

市場では、先進国での金融引き締めに加えて、米国と中国の貿易摩擦に対する懸念が根強く残っており、当面はボラティリティ（価格変動性）の高い市場環境が続くと想定されます。一方で、世界経済は依然として底堅く推移しているなかで、割安化した新興国市場への投資妙味は増していると考えられます。

新興国は、過去の通貨危機時に比べると、国際収支、外貨準備高などが改善した水準にあり、対外ぜい弱性は低下しています。それでも外部環境の変化による影響は受けるものの、新興国各国で政策金利の引き上げ等の対応策が採られており、新興国の通貨を下支えすると考えます。

今後とも新興国を取り巻く環境に注意を払いつつ、国別での政治、経済、社会問題などを考慮して、国別アロケーションを決定していく方針です。

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラスは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

<第90期分配金について>

分配金を従来の0.20米ドルから0.10米ドルに引き下げましたのは、取引対象通貨と米ドルの金利差の縮小、および基準価額の水準等を考慮した上で、決定されたものです。

<分配方針>

管理会社は、原則として、配当収益、実現利益および未実現利益をもとに、債券ポートフォリオの最終利回り、取引対象通貨と米ドルの金利差、管理報酬等を考慮して分配金額を決定します。さらに、管理会社は、分配日の前営業日の基準価額が当初元本を上回っている額を上限に分配することができます。

分配の推移(1口当たり、税引前)					分配金合計額
					設定来:53.50 米ドル
	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期	第 90 期
分配日	(18/6/12)	(18/7/10)	(18/8/10)	(18/9/10)	(18/10/10)
分配金	0.20 米ドル	0.20 米ドル	0.20 米ドル	0.20 米ドル	0.10 米ドル

※分配金は、分配方針に基づいて管理会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
分配金が支払われない場合もあります。
※当ファンドの管理会社はダイワ・アセット・マネジメント・サービスズ・リミテッド(ケイマン)です。

以上

【収益分配金に関する留意事項】

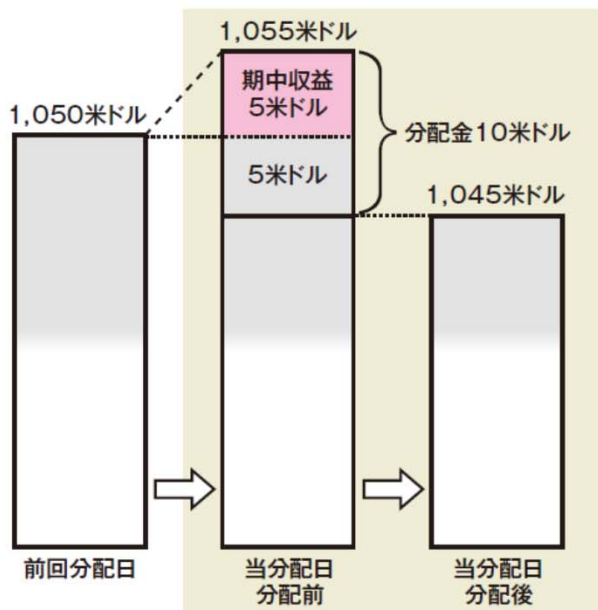
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



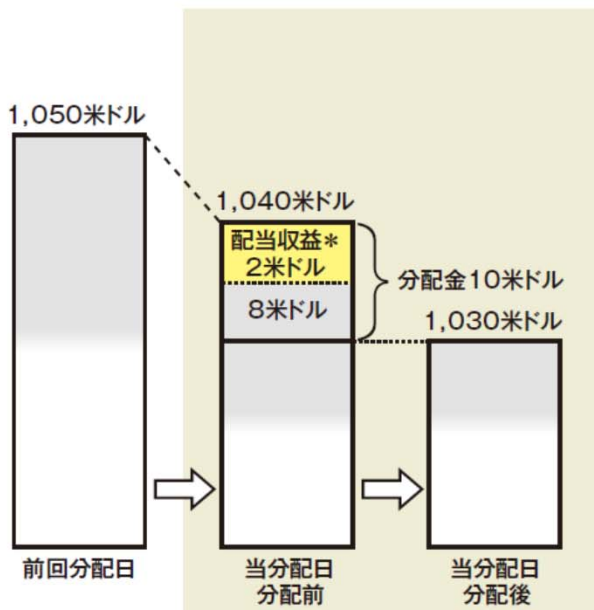
- 分配金は、分配計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当分配日の基準価額は前回分配日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合（基準価額が米ドル表示の場合）

（前回分配日から基準価額が上昇した場合）



（前回分配日から基準価額が下落した場合）

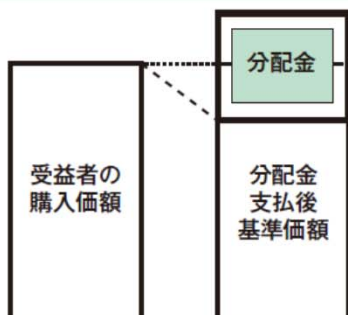


*「配当収益」には、為替取引によるプレミアムを含みます。

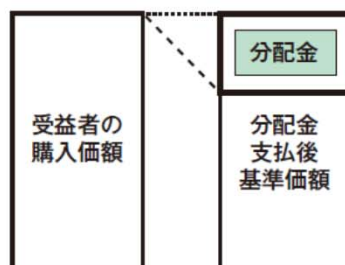
※上図表はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。分配金は、ファンドごとに、その分配方針に基づき支払われます。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には投資元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

（分配金の一部が購入価額を下回った場合）



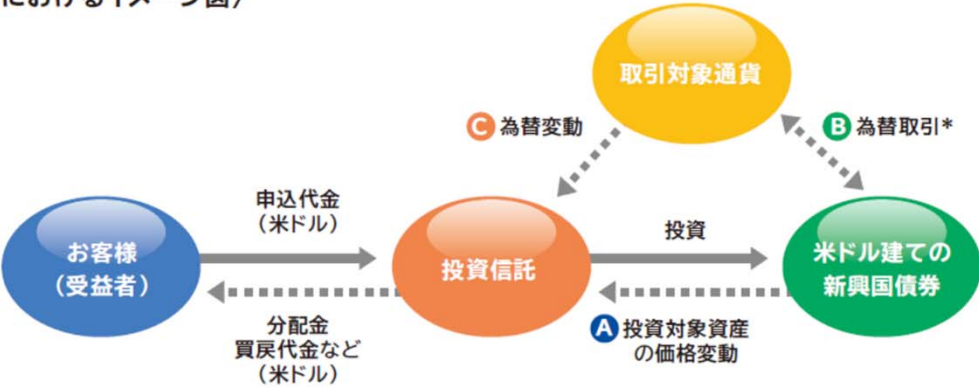
（分配金の全部が購入価額を下回った場合）



通貨選択型ファンドの収益のイメージ

◆ 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

〈ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨の対米ドルでの為替リスクが発生することに留意が必要です。

◆ ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

A		(注) B	C
収益の源泉		為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用)	為替差益/差損
収益を得られる ケース	米ドル建ての新興国債券の 利子収入、値上がり/値下がり	取引対象通貨 > 米ドルの 短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生	米ドルに対して 取引対象通貨高 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース	金利の上昇 発行体の信用状況の悪化	取引対象通貨 < 米ドルの 短期金利 コスト (金利差相当分の費用) の発生	米ドルに対して 取引対象通貨安 為替差損の発生

(注) 為替取引に関する規制が多い新興国通貨の場合、為替取引を行う際にNDF取引を利用する場合があります。
NDF取引を用いて為替取引を行う場合、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。
※上図表はイメージ図であり、投資成果を示唆または保証するものではありません。

ダイワ・ファンド・シリーズ
ダイワ新興国債券ファンド（米ドル建／毎月分配型）
－通貨ブリッジ－
（ブラジル・レアル・ヘッジコース）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米ドル建ての新興国債券（注）に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。
（注）「新興国債券」とは、新興国の政府、政府関係機関、州、その他の地方公共団体が発行する債券をいいます。以下同じです。

ファンドの特色

1. 米ドル建ての新興国債券に投資します。
 - ◆JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス^(*)を参考に運用を行います。
* J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している流動性の高い米ドル建ての新興国国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。
 - ◆国別配分および年限構成の決定については、各国の経済情勢および信用力等を考慮します。
 - ◆投資対象銘柄の決定については、各銘柄の流動性、利回り水準等を考慮します。
2. 米ドル建て資産に対して、各コースは米ドル売り、取引対象通貨買いの為替取引を行います。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
ブラジル・レアル・ヘッジコース	米ドル売り／ブラジル・レアル買い	ブラジル・レアル
豪ドル・ヘッジコース	米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル

- 為替取引を実行するために、外国為替予約取引、NDF取引等を行うことができます。
- 為替取引は、純資産総額に追加設定予定額を追加し、買戻予定額を控除した上で、為替取引対象コースの純資産総額程度のエクスポージャーを上限とします。

◆ファンドの名称は「ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド（毎月分配型）」であり、各コースの名称は「米ドル建 ブラジル・レアル・ヘッジコース」および「米ドル建 豪ドル・ヘッジコース」ですが、愛称である「通貨ブリッジ」と併せて「ダイワ・ファンド・シリーズダイワ新興国債券ファンド（米ドル建／毎月分配型）－通貨ブリッジ－」と総称し、各コースを「ブラジル・レアル・ヘッジコース」および「豪ドル・ヘッジコース」と表記しています。

3. 毎月 10 日（休業日の場合、翌営業日）に、分配方針に従い、分配を行います。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク、ファンドの費用については次頁をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定は…

ダイワ・アセット・マネジメント・
サービス・リミテッド(ケイマン)

運用は…

ダイワ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド

ダイワ・ファンド・シリーズ
ダイワ新興国債券ファンド（米ドル建／毎月分配型）
－通貨ブリッジ－
（ブラジル・リアル・ヘッジコース）

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資リスク

●ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「債券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（流動性リスク等）」

※取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行う場合、コストは、需給や規制等の影響により、金利差から予想される水準と大きく異なることがあります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意点

ファンドの受益証券の基準価額は、米ドル建てにより表示されるため、円貨から投資した場合には、円貨換算した基準価額は、円貨と米ドル貨の間の外国為替レートの変動の影響を受けます。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用											
購入時手数料	購入は、口数でのみお申込みいただけます。 購入時手数料の額は、購入口数に応じて、次に掲げる率を乗じて得た額とします。										
	<table><tr><th>購入時の申込口数</th><th>手数料率</th></tr><tr><td>5,000 口未満</td><td>購入金額の 3.24%（税抜 3.00%）</td></tr><tr><td>5,000 口以上 5 万口未満</td><td>購入金額の 1.62%（税抜 1.50%）</td></tr><tr><td>5 万口以上 10 万口未満</td><td>購入金額の 1.08%（税抜 1.00%）</td></tr><tr><td>10 万口以上</td><td>購入金額の 0.54%（税抜 0.50%）</td></tr></table>	購入時の申込口数	手数料率	5,000 口未満	購入金額の 3.24%（税抜 3.00%）	5,000 口以上 5 万口未満	購入金額の 1.62%（税抜 1.50%）	5 万口以上 10 万口未満	購入金額の 1.08%（税抜 1.00%）	10 万口以上	購入金額の 0.54%（税抜 0.50%）
	購入時の申込口数	手数料率									
	5,000 口未満	購入金額の 3.24%（税抜 3.00%）									
	5,000 口以上 5 万口未満	購入金額の 1.62%（税抜 1.50%）									
	5 万口以上 10 万口未満	購入金額の 1.08%（税抜 1.00%）									
10 万口以上	購入金額の 0.54%（税抜 0.50%）										
購入時手数料は、購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として販売会社に支払われます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。											
換金（買戻し）手数料	ありません。										
投資者が信託財産で間接的に負担する費用											
管理報酬等	ファンドの資産から支払われる総報酬は、純資産総額の年率 1.34%程度および年間 42,000 米ドルです。 （注）受託報酬および管理事務代行報酬ならびに資産保管報酬に最低報酬金額が設定されているため、各コースの純資産総額の合計額によっては、年率 1.34%程度を上回ることがあります。										
その他の費用・手数料	ファンドは、弁護士報酬、監査人報酬等の直接の運営のコストおよび費用を負担する場合があります。 ※「その他の費用・手数料」については、ファンドが負担することにより、投資者の皆様が間接的にご負担いただくことになります。これらの費用については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。										

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※これらの詳細につきましては、請求目論見書の該当箇所をご参照ください。